

東北地方 3か月予報

(12月から2月までの天候見通し)

平成24年11月22日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

12月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

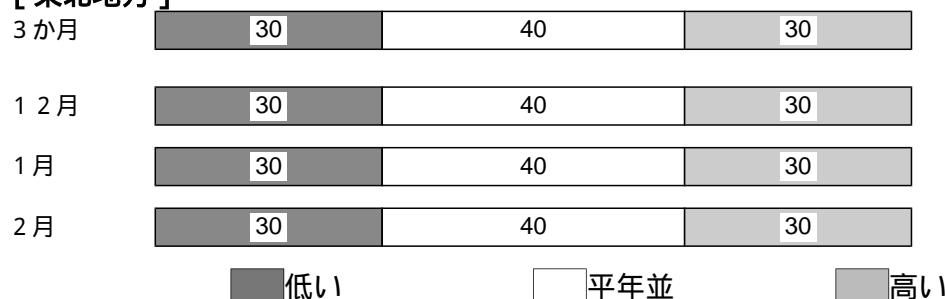
1月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

2月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

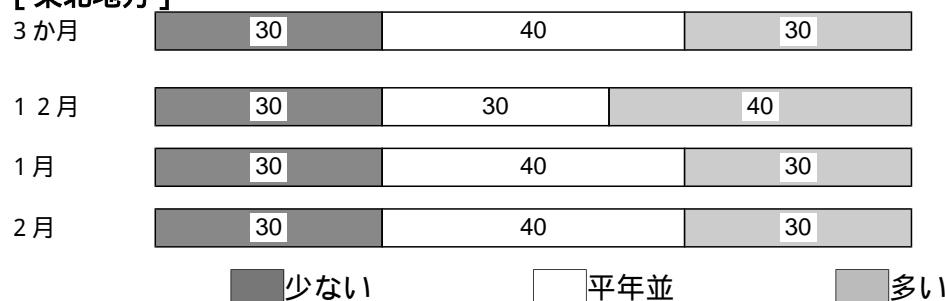
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]



<<降雪量>>

[東北日本海側]

3か月

30

40

30

少ない

平年並

多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は11月23日

3か月予報：12月25日(火) 14時

なお、12月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

また、寒候期予報として発表していたこの冬(12~2月)の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月
青森	1.5	-1.2	-0.7	-0.2	150.8	144.9	111.0	404.3	52.8	51.3	69.8	174.3
深浦	2.5	-0.2	0.1	0.8	132.9	101.8	78.0	313.0	31.6	26.9	46.5	107.0
むつ	1.3	-1.4	-1.2	-0.4	103.7	103.1	82.9	287.0	71.2	71.6	91.3	234.8
八戸	1.8	-0.9	-0.5	0.1	49.1	42.8	40.1	128.5	124.5	130.8	129.6	385.6
秋田	2.9	0.1	0.5	1.2	160.1	119.2	89.1	368.8	45.1	39.9	62.5	147.6
盛岡	1.0	-1.9	-1.2	-0.7	70.8	53.1	48.7	167.2	101.6	116.9	127.5	346.7
大船渡	3.6	0.8	1.1	1.8	50.4	49.9	45.5	141.0	132.0	142.8	136.9	412.2
宮古	3.1	0.3	0.4	1.3	64.8	60.6	60.1	175.8	147.4	161.0	152.9	462.4
仙台	4.5	1.6	2.0	2.7	36.6	37.0	38.4	108.0	138.6	148.1	151.8	437.7
石巻	3.5	0.7	1.2	1.8	33.6	34.9	35.1	102.3	149.3	165.5	163.1	477.9
山形	2.6	-0.4	0.1	0.7	82.7	83.0	62.7	228.8	80.7	84.8	98.9	263.7
新庄	1.6	-1.1	-0.7	-0.1	223.6	208.2	138.9	568.0	38.8	38.5	57.7	135.0
酒田	4.5	1.7	1.9	2.7	204.0	168.1	114.0	486.7	43.9	39.4	59.2	142.5
福島	4.4	1.6	2.2	2.7	41.8	49.4	44.3	135.3	125.2	132.0	142.3	398.4
若松	2.2	-0.6	-0.1	0.5	93.8	95.3	71.4	260.6	70.7	78.5	98.8	247.5
白河	3.0	0.3	0.8	1.3	36.0	38.9	38.5	111.9	152.0	151.2	152.4	454.7
小名浜	6.4	3.8	4.0	4.7	44.4	52.8	58.0	154.2	183.6	189.8	177.9	551.1

	降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12月～2月
青森	153	225	176	555
深浦	67	110	92	270
むつ	91	168	143	404
八戸	40	77	75	193
秋田	74	138	108	322
盛岡	53	85	74	213
大船渡	11	19	23	53
宮古	16	33	55	105
仙台	9	21	23	56
石巻	6	14	20	41
山形	77	148	125	356
新庄	154	283	217	656
酒田	56	122	98	277
福島	28	74	57	162
若松	83	171	142	401
白河	21	58	47	129
小名浜	-	-	-	-

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

(2) 1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	12月	1月	2月	12月～2月
気温平年差()	東北地方	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.4	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.2～+0.5	-0.3～+0.6	-0.2～+0.5	-0.2～+0.4
	東北太平洋側	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.5	-0.2～+0.3
降水量平年比(%)	東北地方	74～97	74～107	85～110	88～105
	東北日本海側	91～105	88～109	90～110	92～108
	東北太平洋側	60～101	57～116	72～116	85～109
降雪量平年比(%)	東北地方	74～116	90～107	78～112	87～107
	東北日本海側	74～118	94～111	85～119	90～106
	東北太平洋側	69～123	81～99	78～105	86～105

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（12～2月）

平成24年11月22日 仙台管区気象台

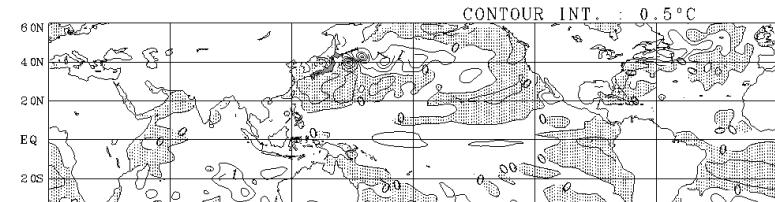
1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

12～2月	
12月	
1月	
2月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、太平洋熱帯域では東部を除き、平年よりやや高い状態が予想されている。予報期間中は、エルニーニョ現象でもラニーニャ現象でもない平常の状態が続く見込み。また、インド洋熱帯域では、西部でやや低く、東部でやや高い状態が予想されている。



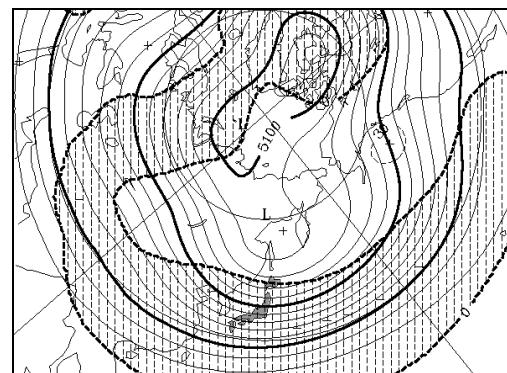
3か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は 0.5°C。陰影部は負偏差。

対流活動(図略)は、西部太平洋熱帯域やインドネシア付近で活発で、このことが一因となって、500hPa高度(中図)は日本から日本の東海上で負偏差の予想となっている。また、インド洋熱帯域では、西部で不活発、東部で活発のため、低緯度から中緯度上空のジェット気流を蛇行させ、日本付近の 500hPa 高度の負偏差を強化しているとみられる。

なお、中緯度から高緯度上空のジェット気流の蛇行も日本付近の 500hPa 高度の負偏差を強化しているが、予測精度が低いため負偏差は若干割り引いて考える。

東北地方への寒気の影響は平年程度を見込む。



3か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

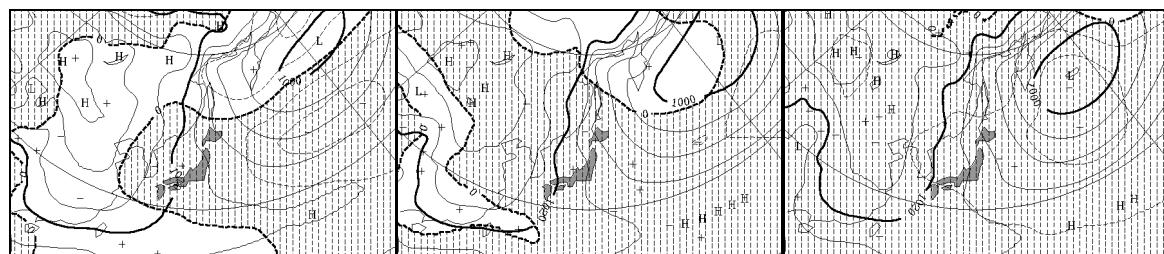
実線は高度(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 30m)。
陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

12月：アリューシャン低気圧は南が負偏差、北が正偏差で、南寄りの予想。東日本以西の冬型の気圧配置は平年より強いが、東北地方の冬型の気圧配置は平年程度と考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。月の前半は低気圧の影響を受けやすい予想。

1月：アリューシャン低気圧は南が負偏差、北が正偏差で、南寄りの予想。東日本以西の冬型の気圧配置は平年より強いが、東北地方の冬型の気圧配置は平年程度と考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

2月：日本付近は広く負偏差に覆われる。東北地方の冬型の気圧配置は平年程度と考える。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



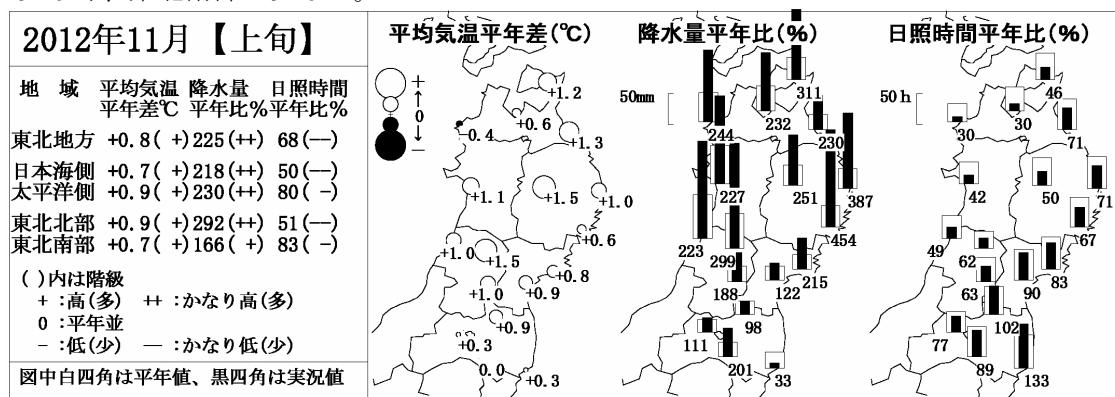
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から 12月、1月、2月。実線は海面気圧(間隔 4hPa)、点線は偏差(間隔 1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

11月上旬：この期間、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。期間のはじめは寒気の影響で低温となったが、その後は南から暖かい空気が入り高温となった。1日から3日にかけては、低気圧が日本海を北東進し、その後冬型の気圧配置となった影響で、東北日本海側を中心に大雨の所があった。6日から10日にかけては、低気圧が日本海から北海道付近にゆっくり進んだ影響で、各県で大雨の日があった。

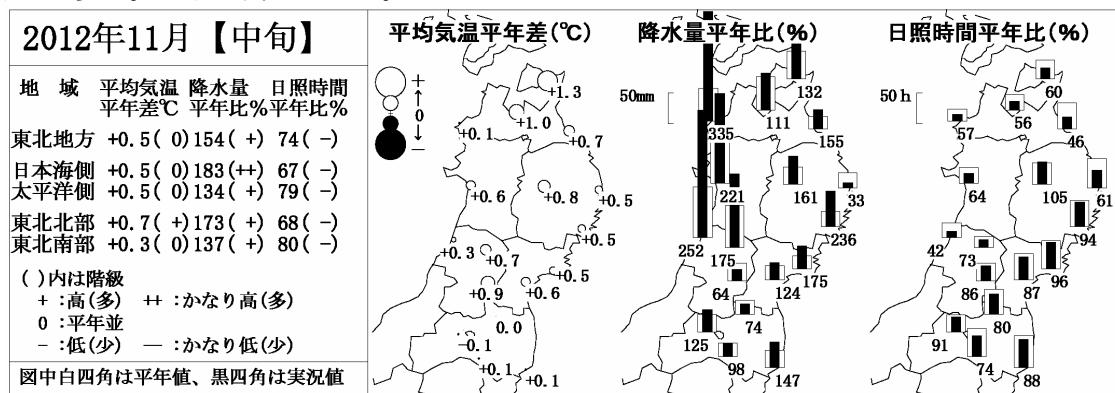
平均気温は高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



11月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

11月中旬：この期間、低気圧が数日の周期で通過し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多かった。東北太平洋側では低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、冬型の気圧配置で晴れた日もあった。12日から15日、17日から18日、20日は、低気圧が東北地方付近を通過し、その後冬型の気圧配置となった影響で、東北日本海側を中心に大雨の所があった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は少ない。

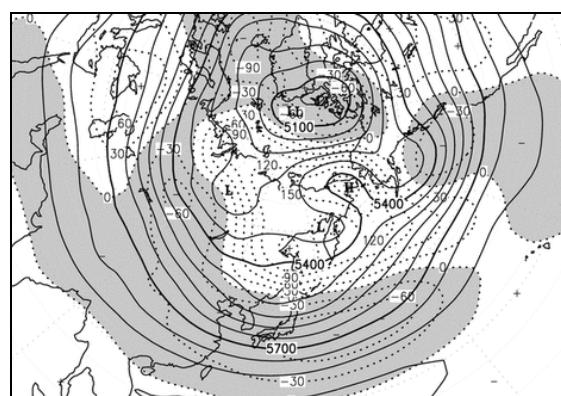


11月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

11月（20日まで）：500hPa高度は、日本付近の中緯度帯は帶状に負偏差だが、東シベリアを中心に正偏差が北海道付近まで広がった。北日本付近の高度線の間隔が平年より広く、低気圧が北日本付近をゆっくり通過した。

東北地方は、低気圧や気圧の谷の影響を受け、曇りや雨の日が多く、たびたび東北日本海側を中心に大雨となった。



11月1日～20日の平均500hPa高度

実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
12月	5. 6	20. 7	4. 2	21. 4	13. 7	11. 2	18. 6	4. 7	8. 9	14. 1	16. 5	6. 9
1月	4. 7	22. 3	3. 2	21. 2	15. 3	9. 9	19. 7	5. 3	9. 7	15. 1	17. 3	8. 1
2月	5. 9	18. 8	5. 1	16. 8	15. 6	8. 2	19. 0	5. 0	10. 8	12. 4	17. 6	7. 1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。